横須賀市立公郷中学校　　国語科　第3学年　2020年度　年間指導計画

担 当 ：

学びの目標	学年として大切にして欲しい姿
○国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を高める。 ○国語の授業を通して、確かな学力と豊かな感性を育てる。	○人間や社会や自然に関心を持ち、自分の経験や知識を整理して考えをまとめる力を育てる。 ○国語の授業を通して、ものの見方や考え方を深める力を養う。

時間	題材名 学習のねらい	各観点の学習目標 国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	評価場面や資料 観点	授業の観察	提出物	プリントノート	単元テスト	定期テスト
	「二つのアザミ」（読む）	○表現の工夫に注意して、筆者の考えを捉えようとしている。			○表現の工夫に注意して、筆者の考えを捉えている。	○新出漢字や、新出語句の意味を理解している。	関 読 言	○ ○ ○				○ ○
	「俳句の読み方、味わい方」（読む）	○表現の工夫に着目して、俳句を読み味わおうとしている。			○表現の工夫に着目して、俳句を読み味わっている。	○俳句という形式の特徴を理解している。	関 読 言	○ ○ ○				○ ○
	「俳句を作って句会を開こう」（書く）	○俳句を作って互いに読み合い、作品のよさを評価しようとしている。		○俳句を作って互いに読み合い、作品のよさを評価している。			関 書	○ ○	○	○ ○		
	「形」「百科事典少女」（読む）	○場面や登場人物の設定の仕方を捉えて、作品を読み味わおうとしている。 ○場面の展開や表現の仕方に着目し、作品を評価しようとしている。			○場面や登場人物の設定の仕方を捉えて、作品を読み味わっている。 ○場面の展開や表現の仕方に着目し、作品を評価している。	○新出漢字や、新出語句の意味を理解している。	関 読 言	○ ○ ○				○ ○
	「評価しながら聞こう」（話す・聞く）	○さまざまな観点から評価しながら聞き、自分の考えや表現に生かそうとしている。	○さまざまな観点から評価しながらスピーチを聞き、自分の考えをまとめている。				関 話	○ ○	○			
	「絶滅の意味」（読む）	○論の進め方に着目して、筆者の主張を捉えようとしている。 ○人間社会と自然との関わりについて考え、自分の意見を持とうとしている。		○人間社会と自然との関わりについて考え、自分の意見を持っている。	○論の進め方に着目して、筆者の主張を捉えている。	○新出漢字や、新出語句の意味を理解している。	関 書 読 言	○ ○ ○ ○	○	○		○ ○
	「付属語の助動詞・助詞を理解する」（文法）	○助動詞・助詞の特徴を知ろうとしている。				○助動詞・助詞の特徴を理解している。	関 言	○ ○				○

	「黄金のの扇風機」（読む） 「サハラ砂漠の茶会」（読む）	○文章を読み比べて論の進め方や表現について評価しようとしている。 ○文章を読み比べて文章の内容について自分の考えを持とうとしている。		○文章を読み比べて、文章の内容について自分の考えを持っている。	○文章を読み比べて、論の進め方や表現について評価している。	○新出漢字や、新出語句の意味を理解している。	関 書 読 言	○ ○ ○ ○	○	○		○ ○
	「観察・分析して論じよう」（書く）	○批評の対象について、観察・分析したり、比較したりして、自分なりの判断を下そうとしている。 ○論の進め方を工夫し、資料を参考にしたり引用したりして、説得力のある批評文を書こうとしている。		○批評の対象について、観察・分析したり、比較したりして、自分なりの判断を下している。 ○論の進め方を工夫し、資料を参考にしたり引用したりして、説得力のある批評文を書いている。			関 書	○ ○	○			
	「場面に応じて話そう」（話す・聞く）	○情報化社会に目を向け、その可能性体験や知識を整理し、目的や相手、時間を意識して、話す内容や話し方を考えようとしている。	○情報化社会に目を向け、その可能性体験や知識を整理し、目的や相手、時間を意識して、話す内容や話し方を考えようとしている。				関 話	○ ○				
	「万葉・古今・新古今」（古典）	○和歌が詠まれた背景や作者の心情を想像しながら、和歌の世界に親しもうとしている。			○歴史的背景などに注意して、それぞれの和歌に込められた意味を捉えている。	○和歌の技法を理解している。	関 書 読 言	○ ○ ○ ○	○	○		○ ○
	「おくのほそ道」（古典）	○当時の状況や作者の思いを捉え、古典の世界に親しもうとしている。			○作品の冒頭や平泉の場面から芭蕉の思いを読み取っている。	○新出漢字や、新出語句の意味を理解している。	関 読 言	○ ○ ○		○		○ ○
	「論語」（古典）	○古人の言葉を読み味わい、理解しようとしている。			○「論語」を読み内容を大まかにつかみ、孔子のものの見方や考え方を読み取っている。	○新出漢字や、新出語句の意味を理解している。	関 読 言	○ ○ ○				○ ○
	「故郷」（読む）	○場面の展開と人間関係の変化を捉えて、作品を読み深めようとしている。			○場面の展開と、個々の人物の特徴や人間関係の変化を捉えるとともに、「希望」について考えたことを挙げている。	○新出漢字や、新出語句の意味を理解している。	関 読 言	○ ○ ○				○ ○
	「いつものように新聞が届いた」（読む）	○情報の意義とメディの役割について考えを深めている。			○文章の内容を読み取り、災害時における情報の価値やメディの役割、伝え続けることの意義について考えている。	○新出漢字や、新出語句の意味を理解している。	関 読 言	○ ○ ○				○ ○

【学習のポイント】＊忘れ物をせず、提出物は期限内に必ず出しましょう。
＊授業準備は早めに行い、授業中は積極的に発言をして、意見の交流を通して授業を活性化させましょう。
＊漢字練習は毎日少しずつ行い、新出漢字は積極的に日常生活でも使用していきましょう。
＊課題テストや定期テストの範囲は別に発表します

横須賀市立公郷中学校　社会科　第３学年　２０２０年度　年間指導計画

担当：

学びの目標	学年として大切にして欲しい姿勢
○ 社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、平和で民主的な社会の形成者としての公民的資質を養う。 ○ 社会科の授業を通して、自分たちの視野を広げながら、世の中の出来事と自分の生き方との関連をとらえる力を付ける。	○ 基礎・基本の定着を図りながら、学んだ内容や学び方を活用し、自分なりに探求をして学習を進めるようにする。 ○ 他者の考えをもとに、自分の考えを発展させながら、広い視野にたって課題解決に取り組む姿勢を育てる。

題材名 学習のねらい	各観点の学習目標 社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解	評価場面や資料 観点	授業の観察	提出物	ノートプリント	課題テスト	定期テスト
＜歴史的分野＞ **「第一次世界大戦と日本」** 帝国主義と反帝国主義という視点を踏まえ、第一次世界大戦の原因・経過・結果、および日本の大正デモクラシーなどについて、関心を持って調べ考え理解する。	第一次世界大戦の勃発、アジアの民族問題、および日本の大正デモクラシーについて、関心を持って意欲的に追及する。	帝国主義の意味、第一次世界大戦の原因、および日本の大正デモクラシーの意義について、多面的・多角的に考え意見を持つ。	第一次世界大戦、アジアの民族運動、および日本の大正デモクラシーについて、その様子などを各種の資料から読み取る。	第一次世界大戦とアジアの民族運動、日本の大正デモクラシーについて、そのあらましを理解し、知識を身に付ける。	関 思 技 知	◎	○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	◎ ◎ ◎
「世界恐慌と日本の中国侵略」 世界恐慌の原因と経過への理解を踏まえ、それに対する平和的対応と軍事的対応の諸相などについて、関心を持って調べ考え理解する。	世界恐慌と米英仏の対応、ファシズムの台頭、およびその中での日本の大陸侵略について、関心を持って意欲的に追及する。	資本主義と世界恐慌との関係、各国の対応の仕方の違い、および日本の大陸侵略の理由について、多面的・多角的に考え意見を持つ。	世界恐慌と米英仏の対応、ファシズムの台頭、および日本の大陸侵略について、その様子などを各種の資料から読み取る。	世界恐慌、米英仏の対応、ファシズムの台頭、日本の大陸侵略について、そのあらましを理解し知識を身に付ける。	関 思 技 知	◎	○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	◎ ◎ ◎
「第二次世界大戦と日本」 第二次世界大戦の原因・経過・結果、その中でのアジア・太平洋戦争の経過と戦時下の国民生活などについて、関心を持って調べ考え理解する。	第二次世界大戦、アジア・太平洋戦争、および日本の戦時体制下の国民生活について、関心を持って意欲的に追及する。	第二次世界大戦の特色、および日本がアジア・太平洋戦争に突入したことの是非について、多面的・多角的に考え意見を持つ。	第二次世界大戦、アジア・太平洋戦争、および日本の戦時体制の下での国民生活について、その様子などを各種の資料から読み取る。	第二次世界大戦、アジア・太平洋戦争、日本の戦時体制下の国民生活について、そのあらましを理解し、知識を身に付ける。	関 思 技 知	◎	○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	◎ ◎ ◎
「戦後の日本の発展と国際社会」 第二次世界大戦後の国際情勢を踏まえ、戦後の日本の民主化の諸相や、日本の国際社会復帰までの歩みなどについて、関心を持って調べ考え理解する。	戦後の日本の民主化、戦後の世界の動き、および日本の国際社会への復帰について、関心を持って意欲的に追及する。	戦後の日本の民主化と世界の動きとの関係、および日本の国際社会への復帰の仕方の是非について、多面的・多角的に考え意見を持つ。	戦後の日本の民主化、戦後の世界の動き、および国際社会への日本の復帰について、その様子などを各種の資料から読み取る。	戦後の日本の民主化、戦後の世界の動き、国際社会への日本の復帰について、そのあらましを理解し、知識を身に付ける。	関 思 技 知	◎	○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	◎ ◎ ◎
「新たな時代の日本と世界」 1960年代以降の国際社会の動きを踏まえ、日本の高度経済成長と国民生活の変化、現代日本の課題などについて、関心を持って調べ考え理解する。	日本の高度経済成長と国民生活の大変化、その後の日本・世界の動きおよび今後の日本の課題について関心を持って意欲的に追及する。	日本の高度経済成長の意義、その後の内外の動きの特色、および今後の日本の課題の重さについて、多面的・多角的に考え意見を持つ。	日本の高度経済成長と国民生活の変化、その後の内外の動き、および今後の日本の課題について、その様子などを各種の資料から読み取る。	日本の高度経済成長と国民生活の変化、その後の内外の動き、今後の課題について、そのあらましを理解し、知識を身に付ける。	関 思 技 知	◎	○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	◎ ◎ ◎

＜公民的分野＞ **「私たちの生活と現代社会」** 現代社会の三つの特色、日本の伝統文化、および円滑な社会運営のための手立てなどについて、関心を持って調べ考え理解する。	少子高齢化などの現代社会の特色、日本の伝統文化、および社会集団を営む手立てについて、関心を持って意欲的に追求する。	少子高齢化などの現代社会の特色、日本の伝統文化の価値、社会集団を営む手立ての意味について、多面的・多角的に考え意見を持つ。	少子高齢化などの現代社会の特色日本の伝統文化、および社会集団を営む手立てについて、その内容などを各種の資料から読み取る。	少子高齢化などの現代社会の特色、日本の伝統文化、社会集団を営む手立てについて、そのあらましを理解し、知識を身に付ける。	関 思 技 知	◎	○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	◎ ◎ ◎
「人権の尊重と日本国憲法」 人権保障の歩みと憲法の意義、日本国憲法の三大原理および基本的人権と公共の福祉などについて、関心を持って調べ考え理解する。	人権保障の歩みと憲法の意義、日本国憲法の三大原理、および基本的人権と公共の福祉について、関心を持って意欲的に追及する。	人権保障と憲法の関係、日本国憲法の三大原理、および基本的人権と公共の福祉の関係について、多面的・多角的に考え意見を持つ。	人権保障と憲法制定の歩み、日本国憲法の三大原理、および基本的人権と公共の福祉について、その内容などを各種の資料から読み取る。	人権保障の歩みと憲法、日本国憲法の三大原理、基本的人権と公共の福祉について、そのあらましを理解し、知識を身に付ける。	関 思 技 知	◎	○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	◎ ◎ ◎
「現代の民主政治と社会」 選挙の役割、国会・内閣・裁判所の仕組みと働き、三権分立の意義、および地方自治の仕組みと課題などについて、関心を持って調べ考え理解する。	選挙と選挙制度、国会・内閣・裁判所の役割と三権分立の意味、および地方自治の仕組みと課題について、関心を持って意欲的に追及する。	選挙のあり方、国会・内閣・裁判所による三権分立の意義、および地方自治の価値について、多面的・多角的に考え意見を持つ。	選挙と選挙制度、国会・内閣・裁判所の仕事と三権分立、および地方自治の仕組みと課題について、その内容などを各種の資料から読み取る。	選挙制度、国会・内閣・裁判所が担う三権分立、および地方自治の仕組みと課題について、そのあらましを理解し、知識を身に付ける。	関 思 技 知	◎	○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	◎ ◎ ◎
「私たちの暮らしと経済」 資本主義の仕組みという観点から、経済活動の意義、消費と家計、流通と価格、生産と企業・金融、および労働者の権利などについて、関心を持って調べ考え理解する。	社会における経済活動、消費と家計、流通と価格、生産と企業・金融、および労働者の権利について、関心を持って意欲的に追及する。	経済活動の意義、消費・流通・生産の意義と相互関係、および労働者の権利の意義について、多面的・多角的に考え意見を持つ。	社会と経済活動、消費と家計、流通と価格、生産と企業・金融、および労働者の権利について、その内容などを各種の資料から読み取る。	経済活動、消費と家計、流通と価格、生産と企業・金融、および労働者の権利について、そのあらましを理解し、知識を身に付ける。	関 思 技 知	◎	○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	◎ ◎ ◎
「国民生活と福祉」 国民の生活と福祉の向上という観点から、財政政策の役割と租税制度の現状、日本の社会保障制度の課題などについて、関心を持って調べ考え理解する。	経済活動における財政政策、日本の租税制度、および日本の社会保障制度について、関心を持って意欲的に追及する。	財政政策の意義、日本の租税制度のあり方、および日本の社会保障制度のあり方について、多面的・多角的に考え意見を持つ。	経済活動における財政政策、日本の租税制度、および日本の社会保障制度について、その内容などを各種の資料から読み取る。	経済活動における財政政策、日本の租税制度、および日本の社会保障制度について、そのあらましを理解し、知識を身に付ける。	関 思 技 知	◎	○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	◎ ◎ ◎
「国際社会と世界平和」 世界平和、地球環境、資源・エネルギー、貧困・格差などの，現在の国際社会が抱える様々な課題と取り組みについて、関心を持って調べ考え理解する。	世界平和、地球環境、資源・エネルギーなどの，現在の国際社会が抱える諸課題について、関心を持って意欲的に追及する。	世界平和、地球環境、資源・エネルギーなどの，現在の国際社会が抱える諸課題への対応について、多面的・多角的に考え意見を持つ。	世界平和、地球環境、資源・エネルギーなどの，現在の国際社会が抱える諸課題について、その内容などを各種の資料から読み取る。	世界平和、地球環境、資源・エネルギーなどの，現在の国際社会が抱える諸課題について、そのあらましを理解し、知識を身に付ける。	関 思 技 知	◎	○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	◎ ◎ ◎

【学習のポイント】

＊忘れ物をせず、提出物は期限内に出しましょう。　＊きちんと手をあげて、ハキハキと発言し、他の人の意見を大切にしましょう。

＊覚える学習から考える学習を大切にしましょう。　＊体・心・頭を動かし、全身で感じながら学習していきましょう。

横須賀市立公郷中学校　数学科　第3学年　2020 年度　年間指導計画

担当：

学びの目標	学年として大切にして欲しい姿
(1)数の平方根について理解し、数の概念についての理解を深める。また、目的に応じて計算したり式を変形したりする能力を伸ばすとともに、二次方程式について理解し用いる能力を培う。 (2)図形の相似、円周角と中心角の関係と三平方の定理について、観察、操作や実験などの活動を通して理解し、それらを図形の性質の考察や計量に用いる能力を伸ばすとともに、図形について見通しをもって論理的に考察し表現する能力を伸ばす。 (3)具体的な事象を調べることを通して、関数 $y=ax^2$ について理解するとともに、関数関係を見いだし表現し考察する能力を伸ばす。 (4)母集団から標本を取り出し、その傾向を調べることで、母集団の傾向を読み取る能力を培う。	①学習規律を基礎基本とし、そのなかで中学校での学習内容を、自ら楽しんで数学的活動に参加しようとする態度。 ②活動に参加する中で、必要な考え方や計算方法、知識を自ら習得しようとする気持ちを持つ。 ③自分の考え方と仲間の考え方の違いを認め、様々な考え方を受け入れる。また、班活動を通して積極的に意見の交流をし、考え方を取り入れていく。 （校訓:受け容れよう・話し合おう・傷つけない・自分作り）

時間	題材名 学習のねらい	各観点の学習目標 数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量、図形などについての知識・理解	評価場面や資料 観点	授業の観察	班活動・表現活動	ワークシートなど	小テスト	定期テスト
18	1章 式の計算 ①式の乗法・除法 ②式の展開 ③乗法公式 ④式の利用	式の展開や因数分解に関心をもち、計算の方法を考えたり、問題の解決に生かそうとしたりする。	式の展開や因数分解の方法を考えたり、それらを活用して数や図形の性質を証明できる。	簡単な多項式について、公式を用いるなどして式の展開や因数分解をすることができる。	展開と因数分解の意味や、それらの公式を理解することができる。	関 見 技 知	○	○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ◎ ◎ ◎
15	2章 平方根 ①平方根 ②根号を含む式の計算 ③平方根の利用	数の平方根に関心をもち、その必要性や計算の方法を考えたり、問題の解決に活用したりしようとする。	平方根の性質や計算の方法を考えたり、具体的な場面で平方根を活用して考えたり処理できる。	根号を用いて平方根を表したり、平方根を含む式の四則計算ができる。	平方根の必要性と意味、四則計算の方法などを理解することができる。	関 見 技 知	○	○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ◎ ◎ ◎
15	3章 2次方程式 ①2次方程式の解き方 ②2次方程式の利用	2次方程式に関心をもち、その解き方を考えたり、問題の解決に生かそうとしたりする。	2次方程式の解き方を考えたり、問題の解決に活用できる。	因数分解や平方根の考え、解の公式などを用いて2次方程式を解いたり、問題の解決に活用することができる。	2次方程式の必要性と意味及びその解の意味などを理解することができる。	関 見 技 知	○	○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ◎ ◎ ◎
16	4章 関数y＝a χ 2 ①関数y＝a χ 2 ②関数y＝a χ 2 の利用 ③いろいろな関数	様々な事象を関数 $y=ax^2$ としてとらえたり、表、式、グラフなどで表したりすることに関心をもち、問題の解決に活用しようとする。	関数 $y=ax^2$ の表、式、グラフなどを相互に関連付けてそれらの特徴を考えたり、事象の中にある2つの数量の関係を関数を活用してとらえることができる。	関数 $y=ax^2$ の関係などを、表、式、グラフを用いて的確に表現したり、数学的に処理することができる。	事象の中には関数 $y=ax^2$ などとしてとらえられるものがあることや、関数 $y=ax^2$ の表、式、グラフの関連などを理解することができる。	関 見 技 知	○	○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ◎ ◎ ◎
20	5章 相似な図形 ①相似な図形 ②平行線と相似 ③相似と計量	相似な図形に関心をもち、その性質を調べたり、三角形の相似条件を用いて図形の性質を確かめたりしようとする。	相似な図形の性質や三角形の相似条件などを見いだし確かめたり、それらを用いて図形の性質を証明することができる。	相似な図形の性質、三角形の相似条件などを記号や用語を用いて簡潔に表現したり、性質を活用して線分の長さ、図形の面積や体積などを求めることができる。	相似の意味、三角形の相似条件、平行線と線分の比についての性質、相似比と面積比及び体積比の関係などを理解することができる。	関 見 技 知	○	○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ◎ ◎ ◎
9	6章 円 ①円周角と中心角 ②円周角の定理と利用	円周角と中心角に関心をもち、見いだした関係を証明したり、問題の解決に生かそうとしたりする。	円周角と中心角の関係を見いだし証明したり、それを活用して問題を解決することができる。	円周角と中心角の関係を用いて円周角や中心角の大きさを求めたり、作図をすることができる。	円周角と中心角の関係及びそれが証明できることなどを理解できる。	関 見 技 知	○	○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ◎ ◎ ◎
12	7章 三平方の定理 ①三平方の定理 ②三平方の定理の利用	三平方の定理に関心をもち、その証明を読み取ったり問題の解決に生かそうとしたりする。	三平方の定理を見いだしたり、それを用いて具体的な事象をとらえ問題を解決することができる。	三平方の定理を用いて直角三角形の辺の長さなどを求めることができる。	三平方の定理やその逆の意味を理解することができる。	関 見 技 知	○	○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ◎ ◎ ◎
8	8章 標本調査 ①標本調査	標本調査に関心をもち、その必要性や意味を調べたり、問題の解決に生かそうとしたりする。	標本調査を基にして、母集団の傾向をとらえ説明することができる。	母集団から標本を抽出し整理することができる。	標本調査の必要性と意味を理解することができる。	関 見 技 知	○	○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ◎ ◎ ◎

【学習のポイント】①毎時間の授業を大切にし、自ら考え、参加する姿勢を持つ。 ②クラスの仲間とともに協力して考える姿勢を持ち、他を受け容れ、自分の意見も伝える。
③学習したことを定着させるために、ワークなどを用いて問題演習を行い、自らの学習の定着を図ろうと努力する。

横須賀市立公郷中学校　　理　科　第3学年　2020年度　年間指導計画

担 当 ：

学びの目標	学年として大切にして欲しい姿
① 自然の事物・現象に進んでかかわり、目的意識をもって観察、実験を行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てる。 ② 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。	① 自然の事物・現象に興味を持ち、生活と結びつけよう。 ② 基礎的な原理・原則を理解し、授業に積極的に参加しよう。 ③ 家庭学習を充実させ、徹底的に復習しよう。

時間	題材名 学習のねらい	各観点の学習目標 自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	評価場面や資料 観点	授業の観察	定期テスト	課題テスト	レポート	提出物
37	単元1　運動とエネルギー 物体の運動やエネルギーに関する観察、実験を通して，物体の運動の規則性やエネルギーの基礎について理解するとともに，日常生活や社会と関連づけて運動とエネルギー見方や考え方を養う。	運動の規則性、力学的エネルギーに関する事物・現象に進んでかかわり、それらを科学的に探求するとともに、事象を日常生活とのかかわりでみようとする。	運動の規則性、力学的エネルギーに関する事物・現象の中に問題を見いだし、目的意識をもって観察、実験などを行い、事象や結果を分析し、自らの考えを表現できる。	運動の規則性、力学的エネルギーに関する事物・現象についての観察、実験の基本操作を習得し、事象を科学的に探求する技能の基礎を身につけることができる。	観察や実験などを通して、運動の規則性、力学的エネルギーに関する事物・現象について基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	関 科 技 知	◎ ◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎ ◎	○	○ ◎ ◎ ○	◎ ○ ○ ○
19	単元2　生命の連続性 身近な生物についての観察，実験を通して，生物の成長とふえ方、遺伝現象について理解するとともに、生命の連続性について認識を深める。	生物の成長とふえ方、遺伝の規則性と遺伝子に関する事物・現象に進んでかかわり、それらを科学的に探求しようとするとともに、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与しようとする。	生物の成長とふえ方、遺伝の規則性と遺伝子に関する事物・現象の中に問題を見いだし、目的意識をもって観察、実験などを行い、事象や結果を分析し、自らの考えを表現できる。	生物の成長とふえ方、遺伝の規則性と遺伝子に関する事物・現象についての観察、実験の基本操作を習得し、観察、実験の計画的な実施、結果の記録や整理など、事象を科学的に探求する技能の基礎を身につけることができる。	観察や実験などを行い、生物の成長とふえ方、遺伝の規則性と遺伝子に関する事物・現象についての基本的な概念や規則性を理解し、知識を身に付けている。	関 科 技 知	◎ ◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎ ◎	○	○ ◎ ◎ ○	◎ ○ ○ ○
10	単元3 自然界のつり合い 土の中の生物のはたらきを理解するとともに、自然界における生物相互の関係や自然界のつり合いについて認識を深める。	自然界における生物相互の関係や自然界のつり合いに関する事物・現象に進んでかかわり、それらを科学的に探求するとともに、自然環境の保全に寄与しようとする。	自然界における生物相互の関係や自然界のつり合いに関する事物・現象の中に問題を見いだし、目的意識をもって観察、実験などを行い、事象や結果を分析し、自らの考えを表現で きる。	自然界における生物相互の関係や自然界のつり合いに関する事物・現象についての観察、実験の基本操作を習得し、事象を科学的に探求する技能の基礎を身につけることができる。	観察や実験などを行い、自然界における生物相互の関係や自然界のつり合いに関する事物・現象についての基本的な概念や規則性を理解し、知識を身に付けている。	関 科 技 知	◎ ◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎ ◎	○	○ ◎ ◎ ○	◎ ○ ○ ○
26	単元4　化学変化とイオン 化学変化についての観察、実験を通して、水溶液の伝導性や中和反応について理解するとともに、これらの事物・現象をイオンのモデルと関連づけてみる見方や考	水溶液とイオン、酸・アルカリとイオンに関する事物・現象に進んでかかわり、それらを科学的に探求するとともに、事象を日常生活とのかかわりでみようとする。	水溶液とイオン、酸・アルカリとイオンに関する事物・象現の中に問題を見いだし、目的意識をもって観察、実験などを行い、事象や結果を分析し、自らの考えを表現できる。	水溶液とイオン、酸・アルカリとイオンに関する事物・現象についての観察、実験の基本操作を習得し、、事象を科学的に探求する技能の基礎を身につけることができる。	観察や実験などを通して、水溶液とイオン、酸・アルカリとイオンに関する事物・現象について基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	関 科 技 知	◎ ◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎ ◎	○	○ ◎ ◎ ◎	◎ ○ ○ ◎
27	単元5 地球と宇宙 身近な天体の観察を通して，地球の運動について考察し、太陽や惑星の特徴および月の運動と見え方を理解し、太陽系や恒星など宇宙についての認識を深める。	天体の動きと地球の自転・公転、太陽系と恒星に関する事物・現象に進んでかかわり、それらを科学的に探求するとともに、自然環境の保全に寄与しようとする。	天体の動きと地球の自転・公転、太陽系と恒星に関する事物・現象の中に問題を見いだし、目的意識をもって観察、実験などを行い、事象や結果を分析し、自らの考えを表現できる。	天体の動きと地球の自転・公転、太陽系と恒星に関する事物・現象についての観察、実験の基本操作を習得し、事象を科学的に探求する技能の基礎を身につけることができる。	観察や実験などを行い、天体の動きと地球の自転・公転、太陽系と恒星に関する事物・現象について基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	関 科 技 知	◎ ◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎ ◎	○	○ ◎ ◎ ○	◎ ○ ○ ○
21	単元6 地球の明るい未来のために 自然環境を調べ，自然と人間のかかわり方、エネルギー資源の利用や科学技術の発展と人間生活とのかかわりについて認識を深め、自然環境の保全と科学技術の利用のあり方について科学的に考察し判断する態度を養う。	自然環境を調べ自然と人間のかかわり方エネルギー資源の利用や科学技術の発展と人間生活とのかかわりについて進んでかかわりそれらを科学的に探求しようするとともに自然環境の保全に寄与しようとする	自然環境を調べ，自然と人間のかかわり方エネルギー資源の利用や科学技術の発展と人間生活とのかかわりの中に問題を見いだし、目的意識をもって観察、実験などを行い事象や結果を分析し自らの考えを表現できる。	自然と人間のかかわり方、エネルギー資源の利用や科学技術の発展と人間生活とのかかわりについて、観察、実験の基本操作を習得し、、事象を科学的に探求する技能の基礎を身につけることができる。	観察や実験などを行い、自然と人間のかかわり方、エネルギー資源の利用や科学技術の発展と人間生活とのかかわりについて、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	関 科 技 知	◎ ◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎ ◎	○	○ ◎ ◎ ○	◎ ○ ○ ○

【学習のポイント】

※ テーマを意識して授業に前向きに臨もう。　※ 習得した知識は、プリントなどで定着させよう。　※ 提出物は完成したものを期限までに提出しよう。

横須賀市立公郷中学校　音楽科　第3学年　2020年度　年間指導計画

担当：

学びの目標	学年として大切にしてほしい姿				評価場面や資料				
○表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てると共に、音楽に対する感情を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。	(1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって　音楽に親しんでいく態度を育てる。 (2) 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。 (3) 多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。 (4) 豊かな心と主体的に行動できる力を育てる。				観点	授業観察	実技試験	定期試験	ワークシート
題　材　名 学 習 の ね ら い	各観点の学習目標								
	関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力					
オリエンテーション リズムアンサンブルをしよう 様々なリズムを知り、表現を工夫してアンサンブルをする。	様々なリズムに関心を持ち、表現を工夫して学習に主体的に取り組もうとしている。	音色・速度・強弱などの表現を工夫し、どのようにアンサンブルするかについて思いや意図をもっている。	テンポに合わせてリズムをとり、手拍子などで表現したいリズムアンサンブルをするための技能を身につけている。	様々なリズムを知り。それらのリズムが合わさったり、変化・反復させることで生じる音楽の良さや面白さを味わっている。	関 創 技 鑑	◎ ○ ◎ ◎	○ ◎ ◎ ○	○ ○ ○ ◎	◎ ○ ○ ◎
オーケストラの響きを味わおう ボレロ ・楽器の音色や強弱などから音楽の特徴を聴き取り、楽曲全体の構成を理解して鑑賞しよう	音楽を形作っている要素や構造と曲想とのかかわり、音楽の特徴などに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。			音楽を形作っている要素を知覚しその特質や雰囲気を感受しながら、根拠をもって批評するなど、多様な音楽のよさを味わっている。	関 創 技 鑑	○ ○ ○ ○		○ ◎	◎ ◎
アルトリコーダーに親しもう 風の通り道 ・様々な運指や奏法を身につけて表現する。	曲想の変化に関心をもち、それを生かして音楽表現を工夫して学習に主体的に取り組もうとしている。	曲想の変化を感じ取り、それを生かしながら音楽表現を工夫し、どのように演奏するか思いや意図をもっている。	曲想の変化を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、演奏している。		関 創 技	◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎	○ ○ ○	◎ ◎
情景を想像しながら表現しよう 花 ・歌詞が表す情景を想像し、声部の役割を理解して表現を工夫する。	歌詞が表す情景を想像し、声部の役割を理解して表現を工夫して主体的に取り組もうとしている。	楽曲の特徴と声部の役割を理解して表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	速度や強弱、テクスチュアなどの楽曲の特徴を捉え、声部の役割を活かして歌うために必要な技能を身につけている。	歌詞の内容や表している情景、曲想の変化を意識して、楽曲の良さや美しさを味わって聴いている。	関 創 技 鑑	◎ ○ ◎ ○	○ ◎ ◎ ○	○ ○ ○ ◎	◎ ◎
箏の音色に親しもう さくらさくら ・基礎的な奏法を身につけ、演奏する。	楽器の特徴に関心をもち、基礎的な奏法で演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。	楽器の特徴をとらえた音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	楽器の特徴をとらえた音楽表現をするために必要とする、様々な運指や奏法を身につけ、演奏している。		関 創 技	◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎	○ ○ ○	◎ ◎
総合芸術の魅力を味わおう オペラ「アイーダ」 ・物語を理解し、音楽と他の芸術との関わりを理解する。	音楽を形作っている要素や構造、その背景となる文化、他の芸術との関連に関心をもち、鑑賞学習に主体的に取り組もうとしている。			音楽の要素、構造、その背景となる文化、他の芸術との関連を感じ取って言葉で説明するなど、音楽の良さや美しさを味わっている。	関 創 技 鑑	○ ○ ○ ○		○ ◎	◎ ◎
創作しよう イメージにあった音楽創作 ・イメージを広げ工夫しながら、詩に旋律をつけて演奏する。	音素材の特徴、反復、変化、対照など構成や全体のまとまりに関心を持ち、表現を工夫し音楽を作る学習に主体的に取り組んでいる。	表現したいイメージをもち、音素材の特徴を生かし、反復、変化、対照など構成や全体のまとまりを工夫して、音楽を作る思いや意図をもっている。	イメージや音素材の特徴を活かした表現をするために、必要な技能を身につけて、音楽を作ったり演奏をしている。	イメージや音素材の特徴、反復、変化、対照などの構成を理解し、創作した音楽や実技発表を味わって聴いている。	関 創 技 鑑	◎ ○ ○ ○	○ ○ ◎ ○	○ ○ ○ ○	◎ ◎ ○ ○
合唱しよう 卒業式に向けての取り組み	声部の役割や全体の響きに関心を持ち表現を工夫して、合わせて歌う学習に主体的に取り組んでいる。	声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	声部の役割と全体の響きとの関わりを活かした音楽表現をするために必要な技能を身につけている。	声部の役割と全体の響きを感じ取って音楽の良さや美しさを味わって聴いている。	関 創 技 鑑	◎ ◎	○ ◎ ◎ ○	○ ○ ○ ○	◎ ○

【学習のポイント】①忘れ物をしないように、授業の道具をきちんとそろえよう。　②授業をよく聞き、1時間1時間を大切にしよう。
③苦手な人もあきらめず、前向きに、積極的に、実技に取り組んでいこう。　④互いに教え合い、学びあいながら、学習を深めよう。

横須賀市立公郷中学校　　美術科　第3学年　2020年度　年間指導計画

学びの目標	○学年として大切にして欲しい姿
表現及び鑑賞の幅広い活動を通して，美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに，感性を豊かにし，美術の基礎的な能力を伸ばし，美術文化についての理解を深め，豊かな情操を養う。	(1)主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め，心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。 (2)対象を深く見つめ感じ取る力や想像力を一層高め，独創的・総合的な見方や考え方を培い，豊かに発想し構想する央力や自分の表現方法を創意工夫し，創造的に表現する能力を伸ばす。 (3)造形，美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め，心豊かに生きることと美術との関わりに関心を持ち，よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。

題材名 学習のねらい	各観点の学習目標 関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力	評価場面や資料 観点	授業の観察	作品	ワークシート	振り返りシート	定期テスト
オリエンテーション 「授業について」 作品へのオマージュ	造形的なよさや美しさ，対象のイメージなどを主体的に感じ取ろうとしている。			造形的なよさや美しさ，対象のイメージなどを感じ取り，自分の思いや考えをもって味わっている。	関 鑑	○		○ ◎		○ ○
篆刻　(鈕を彫刻する) 自然物や心のイメージなどから主題を生み出し，形を単純化，強調 するなどして構想を練り，材料や用具の生かし方などを工夫して創 造的に抽象彫刻で表現する。 主な学習活動の流れ ○立体による塊や動きの表現に関心をもち，イメージを追求するための様々な形の工夫を知る。 ○具体物や心の中のイメージなどから主題を生み出す。 ○主題を基に，塊から感じる存在感や，形から感じる動きなどを生 かして表したい形を考え構想を練る。 ○いろいろな方向から見て，立体としての塊や量感，動きを感じながら材料や用具の特性を生かし，自分の表現意図に合う方法を工夫 して制作する。 ○友だちの作品を鑑賞し，その思いや意図，表現の工夫などを感じ 取り，その思いについて話し合う。	表現 篆刻制作に関心を持ち，印としての機能や持ち易さを考えながら，手ざわりや持ち易さ,自分のテーマをイメージし，主体的に構想を練ったり工夫して表現しようとしたりしている。 感じ取ったりしようとしている。	使用する者の気持ちや印としての機能を基に,形や材質感を生かして造形的な美しさを総合的に表現するための構想を練っている。 自然物や心のイメージを基に主題を生み出し，単純化や強調，構成の仕方 などを考え，創造的な構成を工夫し，表現の構想を練っている。	石の材質や道具の特性を生かし，使うイメージを持ちながら構想に合う工夫をしたり,制作の順序の見通しをもったりしながら，創造的に表現している。 石や粘土などの材料や用具の特性を生かし，表現意図に合う新たな表現方 法を工夫するなどして創造的に表現している。	感性や想像力を働かせて，作者の心情や創造的な表現の工夫，印としての機能と形の美しさなどを,自分の価値意識を持って感じ取り味わっている。 造形的なよさや美しさ，表したいイメージを基にした主題と創造的な表現 の工夫などを感じ取り，自分の価値意識をもって味わっている。	関 発 技 鑑	○ ○ ○	◎ ◎ ◎	○ ○ ○ ◎	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
日本の名画の魅力に迫る 形や色彩，構図や人物の描き方などから，作者の心情や意図と創造 的な表現の工夫を感じ取り，歴史に残る名画について理解や見方を 深める。 主な学習活動の流れ ○描かれている事物や人，構図や色づかいなど，事実として共通に 認識できるものについて意見を出し合う。 ○描かれた人物の表情やしぐさ，構図，図法の応用の仕方などか ら，作者の心情や意図と表現の工夫について意見を交換する。 ○友だちの意見や教師の解説，自分の気付きなどを踏まえ，感じ 取ったことや考えたことをまとめる。	受けつがれてきた文化遺産や美術作品に関心をもち，主体的に美術文化へ の理解を深めようとしている。			造形的なよさや美しさ，作者の心情や意図と工夫を味わい，美術文化を継 承していくことの意義を感じている。	関 発 技 鑑	○		○ ◎	○ ○	○ ○
墨が生み出す豊かな世界墨が生み出す豊かな世界 水墨画を描こう 感じ取ったことや考えたこと，墨のイメージなどから主題を生み出 し，構図や墨の生かし方などを工夫して創造的に絵で表現する。 主な学習活動の流れ ○水の量や筆の動かし方などを試し，基本的な水墨画の技法を練習 する。 ○墨に親しみながら，自然や身の回りの様子，文字の形とその意味 などから発想し，表したい主題を生み出す。 ○構図や技法を意識しながら，墨の特性を生かし，工夫して表現する。 ○友だちや作家の作品を鑑賞し，そのよさや美しさ，表現の工夫などについて話し合う。	墨の特性を生かした表現に関心をもち，主体的に創造的な工夫をして表し たり，表現の工夫などを感じ取ったりしようとしている。	自然や身の回りの様子から感じ取ったことや墨の効果などを基に主題を生み出し，単純化や強調，構図や墨の生かし方など考え，創造的な構成を工夫し， 表現の構想を練っている。	墨，和紙，筆などの材料や用具の特性を生かし，表現意図に合う新たな表 現方法を工夫するなどして，描く順序などを総合的に考えながら，創造的に表現 している。	造形的なよさや美しさ，感じ取ったことや墨の効果などを基にした主題と 創造的な表現の工夫などを感じ取り，自分の価値意識をもって味わっている。	関 発 技 鑑	○ ○ ○	◎ ◎ ◎	○ ◎ ○ ◎	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
日本の美意識 (切り絵) 目的や条件などを基に日本の美意識を生かした構成や装飾を考え， 材料や用具の生かし方などを工夫して創造的にデザインする。 主な学習活動の流れ ○日本の風土に育まれ四季を意識した美術や工芸品のよさや特性について理解する。 ○自然の材料の特性や，日本の伝統を生かして，生活を美しく豊かにするためのものを制作する。 ○友だちや作家の作品を鑑賞し，そのよさや美しさ，表現の工夫などについて話し合う。	日本の伝統的な工芸などに関心をもち，主体的に創造的な工夫をして表し たり，表現の工夫などを感じ取ったりしようとしている。	目的や条件などを基に，日本的な美意識を働かせて白黒の対比や図柄などの組み合わせを工夫するなどして構成や装飾を考え，表現の構想を練っている。	材料や用具の特性を生かし，表現意図に合う新たな表現方法を工夫するな どして，形成や着彩の順序などを総合的に考えながら，創造的に表現している。	自然のよさを取り入れた装飾の調和のとれた洗練された美しさ，つくり手の意図などを感じ取り，生活を美しく豊かにする美術の働きや日本の美術や伝統 と文化のよさについて理解している。	関 発 技 鑑	○ ○ ○	◎ ◎ ◎	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
手作りの良さ (チャームを作ろう) 手作りならではの魅力を感じ取り味わう。使いやすさや安全性，使用するものの気持ちなどを考え，材料や用 具の生かし方などを工夫して創造的にデザインする。 主な学習活動の流れ ○手作りならではのよさや美しさを考えチャームのデザインを考え，アイデアスケッチと説明文で構想を練る。 ○材料や用具を使い，手順などを考え見 通しをもって制作する。 ○作品を相互鑑賞し，作者の意図などを感じ取り，味わう。	自然物や心のイメージを基に主題を生み出し，単純化や強調，構成の仕方 などを考え，創造的な構成を工夫し，表現の構想を練っている。	使用する者の気持ちや機能，使いやすさ，安全性，造形的な美しさなどを形や色彩などの効果を生かして総合的に考え，表現の構想を練っている。	材料の特性を生かし，表現意図に合う新たな表現方法を工夫するなどして， 形成や着彩の順序などを総合的に考えながら，創造的に表現している。	形や色彩と機能との調和のとれた洗練された美しさ，つくり手の意図など を感じ取り，自分の価値意識をもって味わっている。	関 発 技 鑑	○ ○ ○	◎ ◎ ◎	◎ ◎ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○

【学習のポイント】
・目的や条件を基に自分でテーマを考える。
・用具の使い方の習得など,表現するために必要な基礎的な力を身につける。
・自分の感じ方で形を捉え，色を試しながら工夫してあらわす。

横須賀市立公郷中学校　保健体育科　第３学年　２０２０年度　年間指導計画

担当：

学びの目標	学年として大切にしてほしい姿				評価場面や資料			
体育や保健の見方・考え方を働かせ，課題を発見し，合理的な解決に向けた学習過程を通して，心と体を一体として捉え，生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	保健体育科では、生徒一人一人の力を伸ばし、活かしていくことを目指して学習を進められるように考えている。また、生徒の個性を活かし、生涯にわたって 運動に親しみ、運動に積極的に取り組んでいって欲しいと考えている。そのため、単に運動技能に優れていることがよいということばかりでなく、学習に取り組む姿勢や運動・健康について考えていくことなども大切な要素としてとらえている。				観察	学習カード	ノート プリント	定期テスト
題材名 学習のねらい	各観点の学習目標							
	関心(25%)	思考・判断(25%)	運動の技能(25%)	知識・理解(25%)				
「体つくり運動」 体を動かす楽しさや心地よさを味わい，運動を継続する意義，体の構造，運動の原則などを理解するとともに，健康の保持増進や体力の向上を目指し，目的に適した運動の計画を立て取り組む。	体つくり運動に自主的に取り組むとともに，互いに助け合い教え合おうとすること，一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとすること，話合いに貢献しようとすることなどや，健康・安全を確保しようとしている。	自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を 工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。		体を動かす楽しさや心地よさを味わい，運動を継続する意義，体の構造，運動の原則などを理解するとともに，健康の保持増進や体力の向上を目指し，目的に適した運動の計画を立て取り組むことができる。	関◎ 思○	思◎ 知○		思○ 知◎
「器械運動」　マット運動・鉄棒運動・跳び箱運動 技ができる楽しさや喜びを味わい，運動観察の方法や体力の高め方などを理解するとともに，自己に適した技で演技することができるようにする。	器械運動に自主的に取り組むとともに，よい演技を讃たたえようとすること，互いに助け合い教え合おうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや，健康・安全を確保しようとしている。	技などの自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとと，自己の考えたことを他者に伝えることができる。	技ができる楽しさや喜びを味わい，自己に適した技で演技することがきる。	技の名称や行い方，運動観察の方法，体力の高め方などを理解する。	関◎ 思○ 技◎	思◎ 知○		思○ 知◎
「球技」　バドミントン 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに，作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する。その際，攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにすること。	バドミントンに自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとするこ，互いに助け合い教え合おうとすることなどや，健康・安全を確保しようとしている。	攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 ネット型では，役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。	技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などを理解する。	関◎ 思○ 技◎	思◎ 知○		思○ 知◎
「水泳」 「水泳の事故防止に関する心得」 体の調子を確かめてから泳ぐ，　プールなど水泳場での注意事項を守って泳ぐなどの健康・安全の心得を理解できるようにする。	水泳の事故防止に関する心得など健康・安全についての学習に自主的に取り組もうとしている。			水泳の事故防止に関する心得など健康・安全について理解している。				知◎

「球技」　卓球 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに，作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する。その際，攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにすること。	卓球に自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教え合おうとすることなどや，健康・安全を確保しようとしている。	攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 ネット型では，役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携 した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。	技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などを理解する。	関◎ 思○ 技◎	思◎ 知○		思○ 知◎
「陸上競技」　リレー 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい，体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに，各種目特有の技能を身に付けることができるようにする。	リレーに自主的に取り組むとともに，勝敗などを冷静に受け止め，ル ールやマナーを大切にしようとすること，自己の責任を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや，健康・安全を確保しようとしている。	動きなどの自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取 り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えることができる。	次の運動について，記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい，各種目特有の技能を身に付けることができる。 リレーでは，中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡しで次走者のスピードを十分高めることができる。	技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などを理解する。	関◎ 思○ 技◎	思◎ 知○		思○ 知◎
「球技」　ソフトボール 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに，作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する。その際，攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにすること。	ソフトボールに自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教え合おうとすることなどや，健康・安全を確保しようとしている。	攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 ベースボール型では，安定したバット操作と走塁での攻撃，ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。	技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などを理解する。	関◎ 思○ 技◎	思◎ 知○		思○ 知◎
「球技」　バレーボール 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに，作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する。その際，攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにすること。	バレーボールに自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教え合おうとすることなどや，健康・安全を確保しようとしている。	攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 ネット型では，役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携 した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。	技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などを理解する。	関◎ 思○ 技◎	思◎ 知○		思○ 知◎
「球技」　バスケットボール 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに，作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する。その際，攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにすること。	バスケットボールに自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教え合おうとすることなどや，健康・安全を確保しようとしている。	攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 ゴール型では，安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによ ってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。	技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などを理解する。	関◎ 思○ 技◎	思◎ 知○		思○ 知◎

「体育理論」　文化としてのスポーツの意義 体育分野における運動の実践や保健分野との関連を図りつつ，豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成する。 (ｱ) スポーツは，文化的な生活を営みよりよく生きていくために重要であること。 (ｲ) オリンピックやパラリンピック及び国際的なスポーツ大会などは，国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていること。 (ｳ) スポーツは，民族や国，人種や性，障害の違いなどを超えて人々を結び付けていること。	文化としてのスポーツの意義についての学習に自主的に取り組もうとしている。	文化としてのスポーツの意義について，自己の課題を発見し，よりよい 解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝えることができる。		文化としてのスポーツの意義について，課題を発見し，その解決を目指した活動を通して，身に付ける。	関◎ 思○		思◎ 知○	思○ 知◎
「保健」　健康な生活と疾病の予防 健康な生活と疾病の予防について理解を深めることができるようにする。 ア　健康は，主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。また，疾病は，主体の要因と環境の要因がかかわり合って発生すること。 イ　健康の保持増進には，年齢，生活環境等に応じた食事，運動，休養及び睡眠の調和のとれた生活を続ける必要があること。また，食事の量や質の偏り，運動不足，休養や睡眠の不足などの生活習慣の乱れは，生活習慣病などの要因となること。 ウ　喫煙，飲酒，薬物乱用などの行為は，心身に様々な影響を与え，健康を損なう原因となること。また，これらの行為には，個人の心理状態や人間関係，社会環境が影響することから，それぞれの要因に適切に対処する必要があること。 エ　感染症は，病原体が主な要因となって発生すること。また，感染症の多くは，発生源をなくすこと，感染経路を遮断すること，主体の抵抗力を高めることによって予防できること。 オ　健康の保持増進や疾病の予防には，保健・医療機関を有効に利用することがあること。また，医薬品は，正しく使用すること。 カ　個人の健康は，健康を保持増進するための社会の取組と密接なかかわりがあること。	健康な生活と疾病の予防について関心をもち，学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	健康な生活と疾病の予防について，課題の解決を目指して，知識を活用した学習活動などにより，科学的に考え，判断し，それらを表している。		健康の成り立ちと疾病の発生要因，生活行動・生活習慣と健康，喫煙，飲酒，薬物乱用と健康，感染症の予防，保健・医療機関や医薬品の有効利用，個人の健 康を守る社会の取組について，課題の解決に役立つ基礎的な事項及びそれらと生活とのかかわりを理解している。	関◎ 思○		思◎ 知○	思○ 知◎

横須賀市立公郷中学校　　家庭科　第3学年　2020年度　年間指導計画

担 当 ：

学びの目標	学年として大切にして欲しい姿
衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通じて、生活の自立に必要な基礎的、基本的知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。	○　自分なりの課題をみつけ、それを解決するための道筋に沿って学習を進める姿。 ○　身につけた知識や技能を『自分だけでなく、人々のためにどう活かすか』を自ら進んで考え、実行する姿。 ○　命の大切さを自覚し、自分を支えてくれる家族・仲間・地域の方々への思いやりを忘れない姿。

時間	題材名 学習のねらい	各観点の学習目標 関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	知識・理解	評価場面や資料 観点	授業の観察	ワークシート	作品	定期テスト
6	幼児の遊び 幼児の発達と生活の特徴を知り、子どもが育つ環境としての家族の役割について理解するとともに、幼児の観察や遊び道具の製作などの活動を通じて、幼児の遊びの意義について理解する。	幼児の観察や遊び道具の製作などの活動を通して、幼児に関心を持っている。	幼児の心身の発達に応じた遊びや遊び道具、遊び方について考え、工夫している。	幼児にふさわしい遊び道具を製作できる。	幼児にとっての遊びの意義について理解している。	関	○	○		
						工		○		
						技			○	
						知			○	○
3	幼児とのふれあい活動 幼児に合った接し方や遊び方を工夫し、触れ合う方法を考える。ふれあい活動を想定して、自分の成長と今後の課題を考える。	幼児と触れ合う活動を想定し、幼児に関心を持ち、課題を設定して適切に関わろうとしている。	幼児の心身の発達に応じた関わり方について考え、工夫している。	幼児の遊びや幼児の発達と家族との関わりなどについて、観点に基づいて観察し、整理することができる。	幼児の遊びや幼児の発達と家族との関わりなどについて、観察し、整理することができる。	関	○	○		
						工		○		
						技		○		
						知				
2	家庭と家族関係 家庭や家族の基本的な機能と、家庭生活と地域との関わりについて理解する。また、これからの自分と家族との関わりに関心を持ち、家族関係をより良くする方法を考える。	これからの自分と家族との関わりに関心を持ち、家族関係をよりよくするためにできることを実践しようとしている。	自分の生活や事例の家族について課題を見つけ、家族関係をよりよくする方法について考え、工夫している。		家庭や家族の基本的な機能について理解している。子どもが育つ環境としての家族の役割を理解している。	関	○	○		
						工		○		
						技				
						知				○
4	消費生活と自立 自分や家族の消費生活に関心を持ち、消費者の基本的な権利と責任について理解する。販売方法の特徴について知り、生活に必要な物資・サービスの適切な選択、購入および活用ができる。	家庭生活と消費について関心を持って学習活動に取り組み、消費生活をよりよくしようとしている。	家庭生活と消費について課題を見つけ、その解決を目指して工夫している。	家庭生活と消費について課題を見つけ、その解決を目指して工夫している。	家庭生活と消費について理解し、基礎的・基本的な知識を身につけている。	関	○	○		
						工		○		
						技	○	○		
						知		○		

【学習のポイント】

- 1週間に1時間という少ない授業です。毎授業を大切に取り組みましょう。
- 家庭学習もしっかりと取り組み、内容の理解度や興味関心を高めましょう。
- 学習を自分の生活で活かし、自ら進んで豊かな生活を目指す“心”を磨きましょう。

横須賀市公郷中学校　技術科　　第3学年　2020年度　年間指導計画

担当:

学びの目標	学年として大切にして欲しい姿	評価の場面や資料
ものづくりなどの実践的・体験的な活動を通して、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し、活用する能力と態度を育てる。	〇自ら学ぶ姿勢 　勉強をさせられてするのではなく、自分から学ぼうとする姿勢 〇ものを大切にする心 　ものづくりを通してものを大切にする心を持ってほしい。ものを大切にすることは人を大切にすることにつながります	観点 授業の観察 作品 ワークシート 定期テスト

時間	題材名 学習のねらい	観点別の学習目標 生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解	観点	授業の観察	作品	ワークシート	定期テスト
4	**コンピュータの基本操作**	・コンピュータの基本的な構成と機能及びソフトウェアの機能について関心をもち，コンピュータの操作をしようとしている。		・コンピュータの起動と終了の操作ができる。 ・キーボードやマウスの操作ができる。 ・コンピュータの基本的操作ができる。	・コンピュータの基本的な構成と機能及びソフトウェアの機能を理解している。 ・基本ソフトウェアと応用ソフトウェアの機能と役割の違いを理解している。	関工技知	〇		〇	◎
4	**ネットワークの利用**	・生物育成に関する技術に関わる倫理観を身に付け、知的財産を創造・活用しようとしている。	・目的や条件に応じて栽培又は飼育の計画を立てるとともに、育成する生物の観察を通して成長の変化を捉え、適切に対応を工夫している。	・計画に基づき、適切な資材や用具を用いて、合理的な管理作業ができる。	・生物の育成に適する条件と、育成環境を管理する方法についての知識を身に付けている。	関工技知	〇		〇 〇	◎
4	**プログラミング基礎**	・応用ソフトウェアを利用して簡単な情報の処理をしようとしている。	・身の回りにある情報を選択し，応用ソフトウェアを利用して情報の処理の仕方を工夫している。	・応用ソフトウェアの操作ができる。	・パーソナルコンピュータの利用形態としての応用ソフトウェアの特徴と利用方法及び操作方法を理解している。	関工技知	〇	〇	〇 ◎ 〇	〇
5.5	**プロロボによる計測制御**	・応用ソフトウェアの特徴と利用方法について関心をもち，応用ソフトウェアを利用して自らの考えを表現しようとしている。	・課題を解決するために応用ソフトウェアの利用方法を工夫している。	・選択した応用ソフトウェアを利用し，収集した情報を処理することができる。 ・作品の印刷やデータの保存ができる。	・応用ソフトウェアの操作に関する知識を身に付けている。	関工技知	◎ 〇 〇	〇 ◎	〇	◎

【学習のポイント】　・技術室での実習は、決められた服装で行なうこと。　安全第一で作業をしましょう。

・技術の授業は1週間に1回しかありません。これから生きていく上で知っておいてほしい知識を学びます。1回1回の授業を大切にしましょう。

横須賀市立公郷中学校　英語科　第3学年　2020年度　年間指導計画　　担当：

学びの目標	学年として大切にしてほしい姿	評価場面や資料
①話し手の意向を理解し、自分の考えを伝えることができる。 ②身の回りのことや興味・関心のある内容について、事実を自分の思いを交え表現できる。	①1，2学年の学習を基礎として、英語の使用場面や表現活動を更に広げる努力をする。 ②英語を理解し、英語で表現する能力を伸ばすために、積極的に活動に参加する。 ③円滑なコミュニケーションを図るためにも、知識や運用能力に留まらず、他国と日本の文化の違いを理解し、受け入れ、尊重する心を持つ。（校訓：受け入れよう・話し合おう・傷つけない・自分づくり）	

時数	題材名 学習のねらい	各観点の学習目標 コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力 話す	外国語表現の能力 書く	外国語理解の能力 聞く	外国語理解の能力 読む	言語や文化についての知識理解	観点	授業の観察	自己表現活動	プリント・ノート	小テスト
18	今までの学習の復習をする。「～されたこと」について言えるようにする。 （Unit0,Unit1）	話題になっていることや、日本文化について積極的に情報を伝えたり、会話を続けたりできる。（やり取り） 日本文化の海外への広がりについて興味を持ち、本文内容を読み取ろうとしている。	あるものについて、それがどのようなものなのか説明することができる。 あるものが誰によって作られたのかについて尋ねることができる。 食事の場面で、人にものを勧めたり、それに応えたりできる。（やりとり）	ある作品を適切な視点から紹介することができる。 興味のある国についてスピーチ原稿を書いて発表したり、友達が紹介した国について質問したりすることができる。	興味のある国についての友達の発表を聞いて概要を理解することができる。あるものについての説明を聞き、その内容が理解できる。 食事の場面で、何を勧められているかがわかる。	雑誌の記事を読んで、その内容を理解することができる。 英文日記を読んで、その内容を理解することができる。	スピーチの構成に関する知識を身に着けている。 受動態・makeABの用法が身についている。人にものを勧める表現である〝Would you like～?〟の使い方の知識を身に着けている。	関 表 理 言	○	◎	○	○ ◎
23	現在完了の継続、完了、経験の使い分けを理解できる。 （Unit2,Unit3）	アマゾンの環境問題やガーナのカカオ農園の現状、フェアトレードについて積極的に情報を伝えたり、会話を続けたりしようとしている。（やり取り） 活動に対して積極的に取り組んでいる。	ある場所に住んでいる期間などについて、尋ねたり答えたりできる。 相手が経験したことについて尋ねたり、自分の経験を話したりすることができる。（やり取り）	お気に入りのものを持っている机間について書くことができる。 好きな人物へのファンレターを5部に上の英文で書くことができる。 自他が経験したことやある行動が終了したことについて述べられる。	友達のスピーチを聞いて、あることがいつから続いているかなどを理解できる。 テレビ中継やインタビューを聞いて、会場の様子や時刻・人数などの情報を得ることができる。	ブラジルの環境問題やガーナにおけるフェアトレードについての文章を読み、その内容を理解できる。 ドキュメンタリー映像のナレーションを聞いて、その内容を理解できる。	現在完了の用法について理解し、それを運用する力を身につけている。 アマゾンの熱帯雨林の環境問題や、ガーナのカカオ農園の現状とフェアトレードの意義に関する知識を身につけている。 不定詞の副詞的用法について運用する力を身につけている。	関 表 理 言	○	○ ◎	○	○ ◎
26	様々な会話表現の運用を身につける。修学旅行について伝えられる。 （Daily Scene3,Presentation2,Let's Read1）	人を誘う場面での会話に積極的に取り組んでいる。 修学旅行について、スピーチの構成を意識して発表したり、発表を聞いて積極的に質疑応答している。（やり取り） 話の流れを追って読み続け、内容を理解しようとしている。	人を誘ったり、提案したり、約束したりすることができる。 自分の修学旅行について、発表することができる。（やり取り） 登場人物の心情に合わせて、気持ちを込めて、音読できる。	例を参考にして、論理的でまとまりのある文章を書くことができる。 自分の修学旅行について5文以上の英文で書くことができる。	相手の提案や約束の内容がわかる。 友達の修学旅行についての発表を聞き、概要や要点を聞き取ることができる。	世界の友達の旅行についてのスピーチ原稿を読んで、その内容を理解することができる。 物語を読んで、場面変化や登場人物の心情などを理解することができる。	人を誘う表現の使い方に関する知識を身につけている。 受動態と現在完了の動詞の形と語順に関する知識を身につけている。 修学旅行についてのスピーチの構成に関する知識を身につけている。	関 表 理 言	○	○ ◎	○	○ ◎

30	不定詞の発展した用法、分詞の後置修飾を運用できる。 (Unit4,Unit5)	お知らせに書かれた指示について、絵などを参考に読み取ろうとしている。 乗り換えのある乗り物での道案内の場面で、積極的に会話に取り組んでいる。 題材内容に関心を持ち、話し手の意見に対して賛否を考えながら読み取ろうとしている。 掛け直しや伝言を頼むなど、電話での場面での会話に積極的に取り組んでいる。(やり取り)	自分にとって困難なこと、易しいことについて話せる。 自他に関する様々な情報を尋ねたり伝えたりすることができる。 乗り物での乗り換えなどについて尋ねたり教えたりできる。 相手の意見を受けて自分の考えとその理由を述べながら、議論できる。 電話での応答で、掛け直しを申し出たり、伝言を頼んだりできる。(やり取り)	やり方を知っていると伝えられる。 人やものについて情報を加えて説明することができる。 あることを知っているかどうかなどについて述べられる。 自分にとって困難なことや簡単なことについて述べられる。	指示を読んで、すべきことについて理解できる。 絵やグラフを参考に緊急放送などを聞いて、放送の内容やアンケート結果の詳細を聞き取れる。 乗り換えのある道案内の場面で、教えられた行き方がわかる。 人やものについて説明する英文を聞いて、その内容を理解できる。 議論を聞いて、賛否や首長の要点、理由などを聞き取ることができる。 電話での場面で、相手の申し出や伝言の内容を理解することができる。	説明文を読んで、その内容を理解することができる。 人やものについて説明する英文を読み、その内容を理解することができる。 議論を読んで、その内容を理解できる。	不定詞の応用用法、分詞の後置修飾、間接疑問文に関する知識と、それらを運用する力を身につけている。 生き方を尋ねる表現の使い方に関する知識を身につけている。 ロボットの進化と普及の利点と問題点に関する知識を身につけている。 掛け直しを申し出たり、伝言を頼んだりする表現の使い方に関する知識を身につけている。	関 表 理 言	○	○ ◎	○	○ ◎
33	関係代名詞に関する知識を身につけ、運用できる。 (Unit6)	人やものについて詳しい情報を付け加え説明しようとしている。 アウンサンスーチーの政治的側面について関心を持ち、内容を読み取ろうとしている。	人やものについて詳しく説明を加えて説明できる。	人やものについて詳しい説明を加えることができる。 決められたテーマについて賛成・反対の立場を明らかにし、理由を述べながら、まとまりのあるレポートを5文以上で書くことができる。	ある人やものについての説明を聞いて、その内容を理解できる。 人物に関する発表を聞いて、概要や要点を聞き取ることができる。	ある人やものについての説明を読み、その内容を理解できる。 インターネットの記事を読んで、その内容を理解できる。 意見を述べるレポートを読んで、その内容を読み取ることができる。	関係代名詞の用法に関する知識を身につけ、運用できる。 レポートの構成に関する知識を身につけている。 語句や文による名詞の後置修飾の用法に関する知識を身につけている。 5文型の分類とそれに関する知識を身につけている。	関 表 理 言	○	○ ◎	○	○ ◎
10	中学の学習を総括し、進路に向け学習をつないでいく。 (Presentation3,Let's Read2/3)	自分の中学校生活について、スピーチの構成を意識して発表したり、友達の中学校生活についての発表を聞いて積極的に質問したり意見を述べたりしている。(やり取り) 物語を味わい、感想を述べようとしている。 世界の友達の学校生活についてのスピーチ原稿を参考に、さらに読み手(聞き手)が理解しやすくなるように自分の原稿を推敲している。	中学校でこれまで取り組んできたこと、これからしたいことについて発表できる。(やり取り) 登場人物の心情に合わせて、気持ちを込めて音読することができる。	中学校でこれまで取り組んできたこと、これからしたいことについて5文以上で書くことができる。	中学校生活について友達の発表を聞いて、その内容を聞き取ることができる。	世界の友達の学校生活についてのスピーチ原稿を読んで、その内容を理解することができる。 物語を読んで、場面の変化や登場人物の心情などを理解することができる。 人物の伝記を読んで、時系列に沿って整理し、人物の生き方や想いなどを読み取ることができる。	中学校生活についてのスピーチの構成に関する知識を身につけている。 語句や文による後置修飾などの知識を身につけ、運用できる。	関 表 理 言	○	○ ◎	○	○ ◎

【学習のポイント】 ①授業を大切にする。集中力・授業準備・活動への参加態度を一生懸命高める。 ②教科書やプリントなどにある英文を何度も書いたり読んだりして、理解力を高める。 ③手元にある英文を参考にして、自分の考えを書く・音読する練習を十分に行う。 ③授業で学んだことを家庭でもよく復習する。 ⑤辞書を活用する。

定期テスト	◎	◎	◎

◎
◎
◎

◎
◎
◎

◎
◎
◎

考